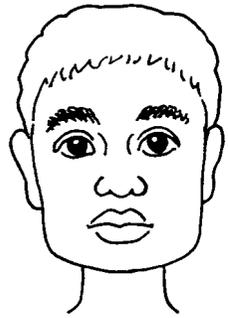
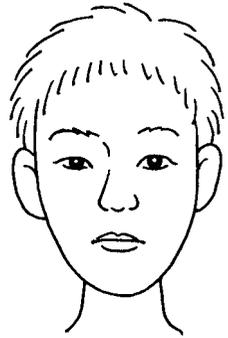


じょうもん やよい
縄文VS弥生

学習日 月 日

年 組 番 名前

1 縄文時代と弥生時代を、次の観点でくらべてみましょう。

観 点	縄文時代	弥生時代
年 代	約 () 万 () 千年前から 約 () 千 4 百年前	紀元前 4 ~ () 世紀から () 世紀
くらし	たてあな住居に住み、主にかりや漁 をしていた。	米づくりが伝わると、人々は米づくりに 適した低地に住むようになった。
食べ物	けものや魚、貝、木の実などをとって 食べた。	自然のものも食べたが、米をつくって 食べるようになった。
道 具	石器や骨角器、木器、() 土 器などを使った。	石器や骨角器、木器、() 土 器の他に、() 器や () 器なども使った。
土器の ちがい	低温で焼かれ、厚くてこわれやすい。 () 目のもようがついている。	高温で焼かれ、うすくてかたい。 かざりやもようは () 。
人 かきましよう。 ()	縄文人 	弥生人 

身長 (男) (女)	159.1cm 148.0cm	163.0cm 151.1cm
文化	健康や安産を祈って、土の人形をつ くった。これを、() という。	青銅で作られた () は、は じめは鈴のように鳴らして音を聞く ものだったが、しだいに大きくなっ た。
遺 跡	青森県にある、日本最大級の縄文 のムラを () 遺跡とい う。 ・柱の高さが約 15m もある巨大な建 物があった。 ・長さ 32m の大型たてあな住居があ った。 ・アワ・ヒエ・クリなどが栽培され ていたようだ。 ・人口が多いときは 500 人も住んで おり、1500 年以上もムラの生活は 続いた。	佐賀県にある弥生時代のムラを () 遺跡という。 ・ムラは、二重三重の濠で守られてい た。 ・堀を掘った土を濠のわきに盛り上 げ、盛土の上には、すどくとがっ た柵をめぐらした。 ・高さが約 12m のやぐらがつくれ、 見張りに使われた。 ・このことから、弥生時代になって () が始まったことがわか る。

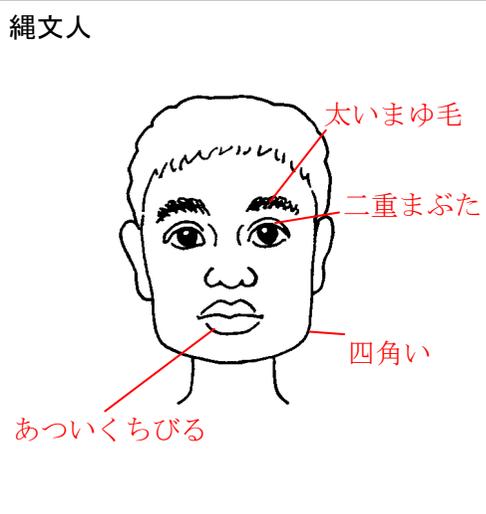
2 米づくりが始まって、人々の生活はどう変わったかを調べてかきましよう。

じょうもん やよい
縄文VS弥生

学習日 月 日

年 組 番 名前

1 縄文時代と弥生時代を、次の観点でくらべてみましょう。

観 点	縄文時代 ●約1万年続いた。	弥生時代 ●約600年続いた。
年 代	約(1)万(2)千年前から 約(2)千4百年前	紀元前4～(3)世紀から (3)世紀
くらし	たてあな住居に住み、主にかりや漁 をしていた。	米づくりが伝わると、人々は米づくりに 適した低地に住むようになった。 ●水が得やすかった。
食べ物	けものや魚、貝、木の実などをとって 食べた。	自然のものも食べたが、米をつくって 食べるようになった。●西日本のほうが米の 割合が高かった。
道 具	石器や骨角器、木器、(縄文)土 器などを使った。	石器や骨角器、木器、(弥生)土 器の他に、(鉄)器や(青銅) 器なども使った。
土器の ちがい	低温で焼かれ、厚くてこわれやすい。 (縄)目のもようがついている。	高温で焼かれ、うすくてかたい。 かざりやもようは(少ない)。
人 かきましよう。 (縄文人と弥生人のちがいを「まゆ毛」「まぶた」「りんかく」「くちびる」から)	縄文人 	弥生人 

身長(男) (女)	159.1cm 148.0cm	163.0cm 151.1cm
文化	健康や安産を祈って、土の人形をつくった。これを、(土偶)という。	青銅でつくられた(銅鐸)は、はじめは鈴のように鳴らして音を聞くものだったが、しだいに大きくなった。
遺 跡	青森県にある、日本最大級の縄文のムラを(三内丸山)遺跡という。 ・柱の高さが約15mもある巨大な建物があった。 ・長さ32mの大型たてあな住居があった。 ・アワ・ヒエ・クリなどが栽培されていたようだ。 ・人口が多いときは500人も住んでおり、1500年以上もムラの生活は続いた。	佐賀県にある弥生時代のムラを(吉野ヶ里)遺跡という。 ・ムラは、二重三重の濠で守られていた。 ・堀を掘った土を濠のわきに盛り上げ、盛土の上には、すどくとがった柵をめぐらした。 ・高さが約12mのやぐらがつくられ、見張りに使われた。 ・このことから、弥生時代になって(戦争)が始まったことがわかる。

2 米づくりが始まって、人々の生活はどう変わったかを調べてかきましょう。

- ・米づくりに適した、水の得やすい低地に住むようになった。
- ・共同で仕事をするので「むら」ができ、人々をまとめるかしらが出てきた。
- ・米は保存しやすいので、うえになやまされることが少なくなった。
- ・身分のちがいや、富んだ人と貧しい人との差が広がった。
- ・水田にする土地などをめぐって戦いが起こるようになった。